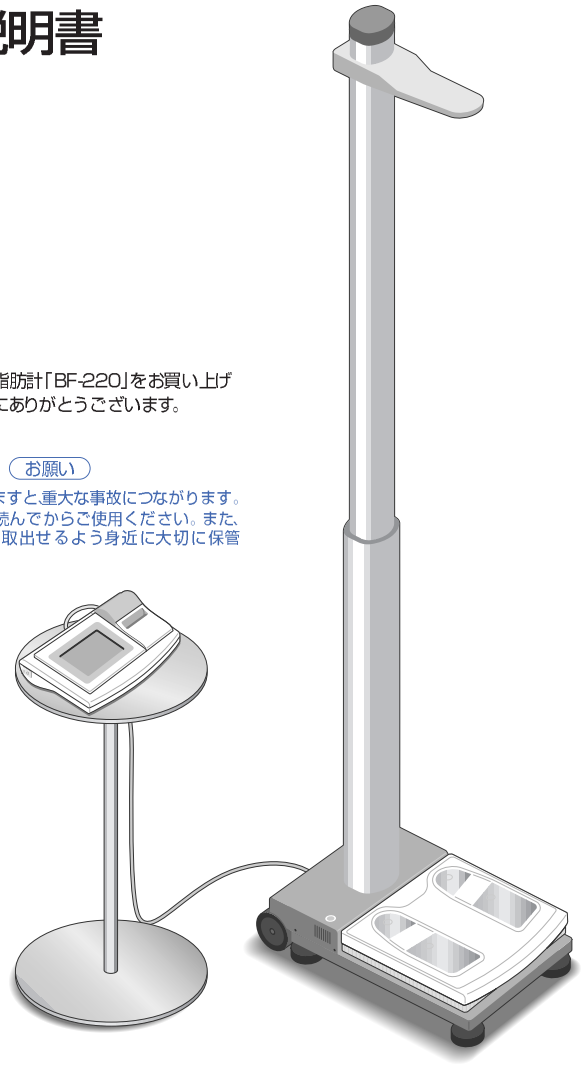
BF-220/02.10.3 02.10.3 11:01 AM ページ1

TANITA
健康をはかる

体内脂肪計 BF-220

取扱説明書



このたびは、体内脂肪計「BF-220」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながります。この説明書をよく読んでからご使用ください。また、必要なときにすぐ取出せるよう身近に大切に保管してください。

アフターサービスについて

1.保証書について

保証書は、必ず販売店などの所定事項の記入内容をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年です。

2.修理や消耗品について

修理のご依頼、または消耗品などのご注文は、本装置をお求めいただいた販売店にご連絡ください。

3.ご不明な点は

弊社営業所、またはお客様サービス相談室へお問い合わせください。

株式会社 タニタ

本社・東京営業所	〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2	☎03 (3558)8111(代表)
大阪営業所	〒577-0013 東大阪市長田中1-3-15	☎06 (6784)2811(代表)
名古屋営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-19-20	☎052(201)6391(代表)
福岡営業所	〒816-0082 福岡市博多区麦野4-2-6	☎092(575)5761(代表)
仙台営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-8	☎022(299)7161(代表)
札幌営業所	〒007-0834 札幌市東区北34条東22-123-8	☎011(786)5611(代表)

お問い合わせ先

フリーダイヤル 0120-133821

受付時間 / 9：00～18：00 (土・日・祝祭日は除く)

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

BF2206801

もくじ

ご使用まえに

製品仕様……3
安全上のご注意……4
お願い……6
●用語説明……7
各部のなまえ／接続のしかた……8
●タッチパネルの使いかた……9
準備する……10
いろいろな設定……13

使いかた

はかりかた……17
「通常測定」モードでの測定方法……18
「集団検診SE有」モードでの測定方法……20
「集団検診メモリ」モードでの測定方法……22
「会員測定」モードでの測定方法……25
体重計としてのご使用方法……30
身長体重計としてのご使用方法……32
データ管理……34
体脂肪率の判定……41
印刷（プリントアウト）の説明……42
データ保存内容及び表示・印刷内容……43

必要なとき

紙詰まりのときは……44
故障かな!?……46
使用可能地域一覧……48
パソコンと接続するとき……49
テクニカルノート……52
基礎代謝（BMR）の新しい回帰式について……54

BIAによる体組成測定は、非侵襲的であることは勿論、測定は簡便性と迅速性にすぐれていることから集団検診に際して特に有用です。

以下のような分野での使用を推奨します。

- ●検診センターや内科での診察の指標として。
- ●肥満患者などの健康管理や教育の動機づけとして。
- ●リハビリテーション・スポーツ分野の訓練・トレーニングの効果判定として。
- ●体力判定や運動処方
- ●予防医学分野
- ●食事療法、運動療法の効果判定として。

製品仕様

インピーダンス測定部			測定方法		4電極法
			測定周波数		50kHz
			測定電流		500μA
			電極材質		ステンレス
			測定部位		両足間
			測定範囲		150～900Ω
体重測定部			計量方法		電気抵抗線式はかり
			ひょう量（最大計量）		200kg（着衣量を含む）
			目量（最小表示）		0.1kg
出力項目	印字	表示	身長	自動計測	100.0～200.0cm（0.1cm単位）
				手動入力	90.0～249.9cm（0.1cm単位）
			体重		2.0～200.0kg（0.1kg単位）
			インピーダンス		150～900Ω（1Ω単位）
			体脂肪率		0.1%単位
			脂肪量		0.1kg単位
			除脂肪量		0.1kg単位
			体水分量		0.1kg単位
			基礎代謝量		1kcal単位
			BMI		
			標準体重		0.1kg単位
			肥満度		0.1%単位
			適正範囲	体脂肪率	0.1%単位
				脂肪量	0.1kg単位
			年月日・時間		24時間制
			SE番号		0～9999999999
			登録番号	集団検診メモリ	0～200
				会員測定	0～500
			体型		スタンダード／アスリート
			性別		男／女
			年令		7～99才
入力・選択項目		入力	着衣量		0.1kg単位
			体型		スタンダード／アスリート
			性別		男／女
			年令		7～99才（1才単位）
			身長	手入力範囲	90.0～249.9cm（0.1cm単位）
				身長計測範囲	100.0～200.0cm（0.1cm単位）
			日時・時間		24時間制
			登録番号	集団検診メモリ	0～200
				会員測定	0～500
		選択	モード		通常測定、集団測定SE有、集団検診メモリ、会員測定
			プリンター設定		自動[プリント枚数（1～3枚）]・手動
			表示項目設定		○×方式
			印刷項目設定		○×方式
表示部					320×240トッド LCDモジュール
外部インターフェース					RS-232C（Dサブ9ピン）双方向
電源					AC100V（50/60Hz）
消費電力					45W以下
使用温度					0～35°C
質量			表示部		約1.6kg
			計量部		約24.6kg

ご使用まえに

安全上のご注意 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で説明しています。その表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、感電により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 取扱いに際して一般的な注意が必要な内容を表示しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

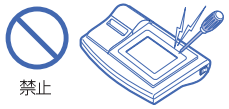
⚠警告

ペースメーカー等、体内機器装着者は絶対に使用しない



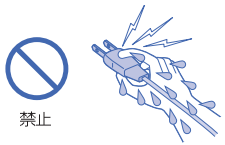
本装置は、微少な電流を体内に流しますので、機器が誤動作し、重大な事故発生の原因になります。

分解や改造は、絶対にしない



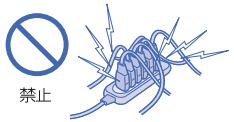
感電やけがの恐れがあります。
また、精度の保証ができません。

濡れた手で、プラグを抜き差ししない

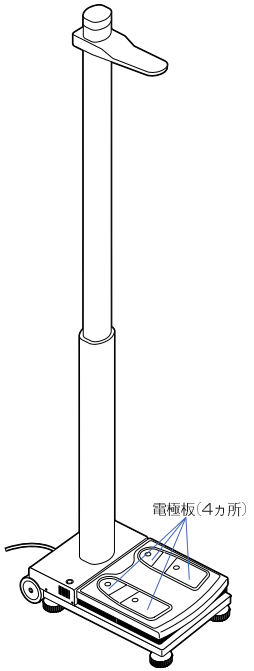


感電や、火災・漏電の原因となります。

タコ足配線をしない



火災の恐れがあります。



■測定の前に、電極板とその周辺部を消毒用アルコールで拭く
素手、素足で測定しますので、病気感染の恐れがあります。

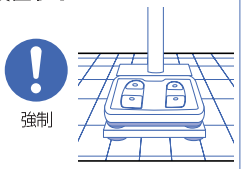
■測定結果の評価や、それに基づく運動メニュー等は、自己判断しない
必ず医師、または資格を持った専門家の指示に従ってください。

■からだの不自由な方がご使用になるときは、1人で測定させない
介護者が援助してください。

■コントロールパネルに強い衝撃を与えたり、上に乗ったりしない
タッチパネルにはガラスを使用しておりますので、大ケガをする恐れがあります。

⚠注意

安定のよい、水平な場所に設置する



転倒してけがをしたり、測定できない場合があります。

絶対に飛び乗らない



転倒して、けがをする恐れがあります。

絶対に寄りかからない



転倒して、けがをする恐れがあります。

■電波障害を受けやすい電子機器等は
本装置からの電波障害がないことを確認して使用する。
本装置は第二種情報処理装置（住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置）の基準に対応していますが、弱い機器の場合は影響を受ける恐れがあります。

■持ち運ぶときや収納するときは

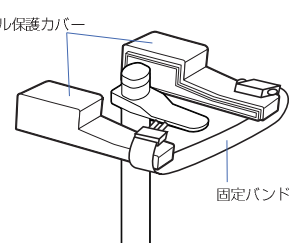
上段支柱を縮め、ハンドルを必ずロックする。
上段支柱が飛び出す恐れがあります。（P.12参照）

付属のカーソルカバーを取り付ける。
カーソルをぶつけ、破損する場合があります。

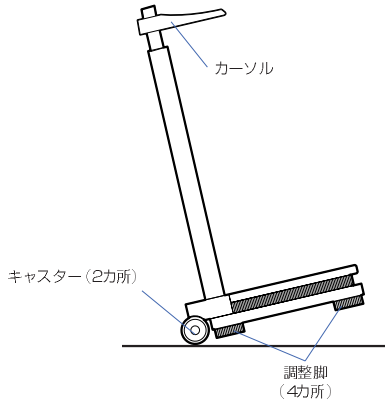
電源コード、接続ケーブルを外す。
移動する時に破損する恐れがあります。

調整脚が浮くまでかたむけ、キャスターで移動する。
持ち上げようとすると腰を痛める恐れがあります。

身長計のポールに注意して、ゆっくりと持ち上げる。
頭を打つなどのけがをする恐れがあります。







お 願 い

正確にはかるために

激しい運動をした後は、測定を避ける



測定値に誤差を生じる恐れがあります。充分休んでから、測定してください。

温度変化の激しい場所では測定しない



測定値に誤差を生じる恐れがあります。20℃以上の温度差のある場所に移動するような場合は、2時間以上放置してからご使用ください。

過度の飲食、極度の脱水症状のときは、測定を避ける



測定値に誤差が生じる恐れがあります。精度を高めるには、起床後3時間以上、食後3時間以上経過した同じ時間帯でご使用ください。

素足になり、電極板に正しく合わせて測定する

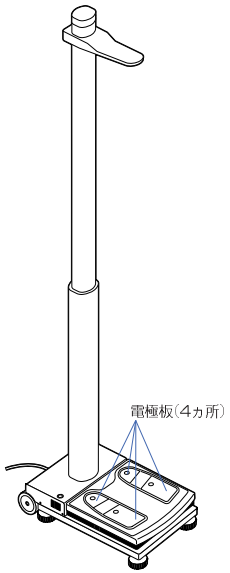


靴下などを履いて乗ると正確に計れない場合があります。

変化の推移を見る場合は、できるだけ同じ条件で測定する



体内の水分の変化や体温に大きく影響されるので、測定前に排尿をするなど毎日同じ時間・条件で測定してください。



■携帯電話やマイクロ波治療器などを本装置の近くで使用しない。
誤作動して正確に測定できない恐れがあります。

■足の裏のゴミやホコリは、落としてから測定する。
体脂肪率が低く表示されたり、測定エラー表示になる場合があります。

■足の内側（内もも）が触れないようにする。
裸に近い状態で測定していて、直接接触する場合は、乾いたタオルなどをはさんで測定してください。

次のような測定対象者は、参考値として変化の推移をみられることをおすすめします。

●7才～17才と70才以上の方。（子供を選択した場合も含む）
●妊娠中や、人工透析患者、またはむくみ症状の人。

次のことは、法律で定められています

必ずお守りください。

ご使用の区域	■精度の保証ができませんので、定められた地域以外では使用しない（☞48ページ）
定期検査	■2年に1回、都道府県、または特定市が行う定期検査を受ける

精度を保つために

本装置は、精密に作られています。最良の状態に保つために、次のことを守り、ご使用ください。

設置について	■直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる所には置かない ■温度変化の激しい場所には置かない ■湿気の多い場所や水気のある所には置かない ■振動の激しい所には置かない
取扱いについて	■絶対に、水洗いはしない ■過度の衝撃や振動を与えない ■コード部分を持って電源コードの抜き差しはしない ■長期間使用しない場合は、電源をOFFにし、コンセントから電源コードを抜く
収納について	■振動の激しい所に保管しない ■湿気やほこりの多い所に保管しない
お手入れについて	■熱湯やベンジン、シンナー等は、使用しない 汚れたときは、水または家庭用洗剤を湿した布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

用語説明

本装置及び付属の説明書は、計量法で用いられる用語を含み表記されておりますので、下記の用語説明をよくお読みになられた上でお使いください。

■**SE番号**：測定モードで「集団検診SE有」を選択した場合に自動設定される番号です。通常は測定ごとにカウントアップします（最大10桁までの数値）。

■**登録番号**：測定モードで「集団検診メモリ」及び「会員測定」を選択した場合に使用する番号です。「集団検診メモリ」の場合は、001～200まで使用できます（3桁数値のみ）。通常は測定ごとにカウントアップします。「会員測定」の場合は001～500まで使用できます（3桁数値のみ）。測定ごとに直接入力が必要です。

■**暗証番号**：測定モードで「会員測定」を選択した場合に使用する番号です（4桁数値のみ）。個人の登録番号を入力した際のセキュリティー用の確認番号です。一度設定した番号は忘れないようにメモ等にて保管しておいてください。

■**パスワード**：データ管理画面で「会員測定」を選択した場合に必要な管理者専用の番号です（4桁数値のみ）。出荷時は"0000"に設定されています。管理者の管轄においてパスワードは変更することが可能です。

■**ひょう量（ひょうりょう）**：はかりの計量できる最大の重さを表します。
【例】ひょう量200kgの場合は、200kgまではかることができます
※ひょう量を超える重さのものは、はかることができません。

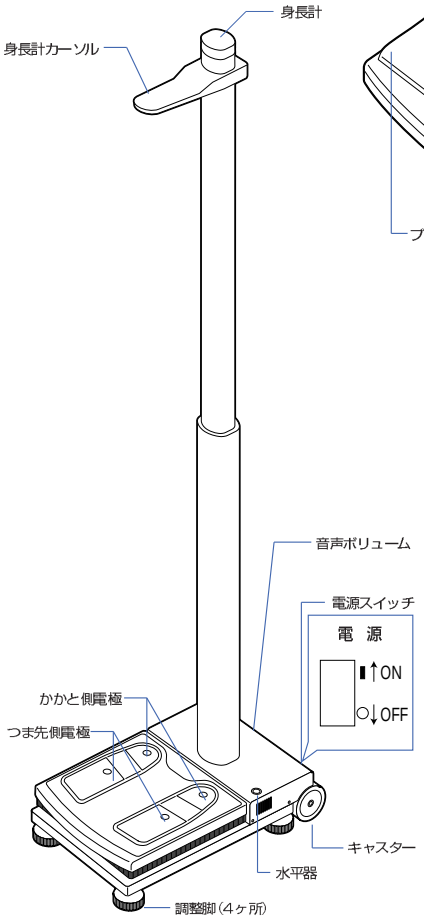
■**目量（めりょう）**：はかりの1つの目盛りの量を表し、デジタル表示のはかりの場合、数字が切り替わる間隔を表します。
【例】目量0.1kgの場合は、表示が0.1kg間隔で増減します。

■**風袋引き（ふうたいびき）**：重さをはかるときに使う容器、袋、包装紙等を「風袋（ふうたい）」と呼びます。そして、風袋の重さを差し引いて正味量をはかることを「風袋引き（ふうたいびき）」といいます。

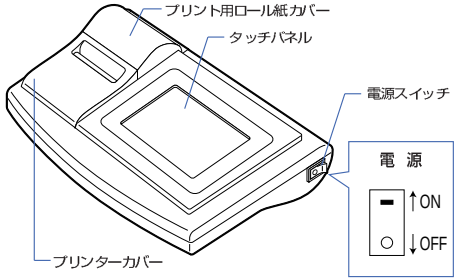
■**アスリート**：アスリート（競技者）と判断される方は日々のトレーニングにより、一般成人と比べて「筋肉量も多く、骨格も太い」という傾向が見られ、また、筋肉に含まれる水分量も異なっていると考えられます。従いましてBIAで体組成の測定を行う場合、測定される電気抵抗（インピーダンス）が一般成人と異なります。
本装置では、より正確な値が得られるように、スタンダード（一般）とアスリートの選択（それぞれ男/女）機能を採用しています。

各部のなまえ／接続のしかた

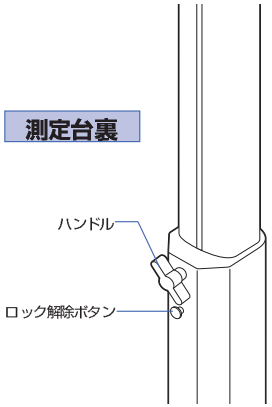
測定台



コントローラー

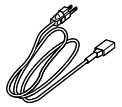


測定台裏



付属品

- □ 電源コード



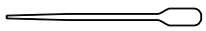
- □ 接続ケーブル



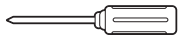
- □ プリント用ロール紙（1巻）（☞11ページ）



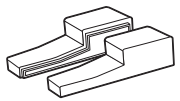
- □ スポイト（☞46ページ）



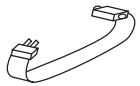
- □ 保証書
- □ 操作手順ガイド
- ☑ 取扱説明書（本書）
- □ ドライバー



- □ カーソル保護カバー（☞5ページ）



- □ 固定バンド



タッチパネルの使いかた

●電源を入れた後、次の要領で操作してください。

■操作する場合は

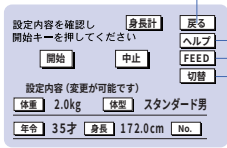
●基本キー（影のある表示枠）を押す。
ただし、時間設定画面の 0 ～ 9 消去 確定 、. : / は、影がありません。

●番号を押す。
例：「1 体内脂肪計」を選ぶときは、
1 を押す。



モード設定キー
各機能の設定変更に使用します。

調整モードキー
本装置の調整に使用します（通常は、パスワードでロックされており、お客様はご利用できなくなっています）。



戻るキー
手順を1つ戻します。

ヘルプキー
本器についてのガイダンスを呼び出します。

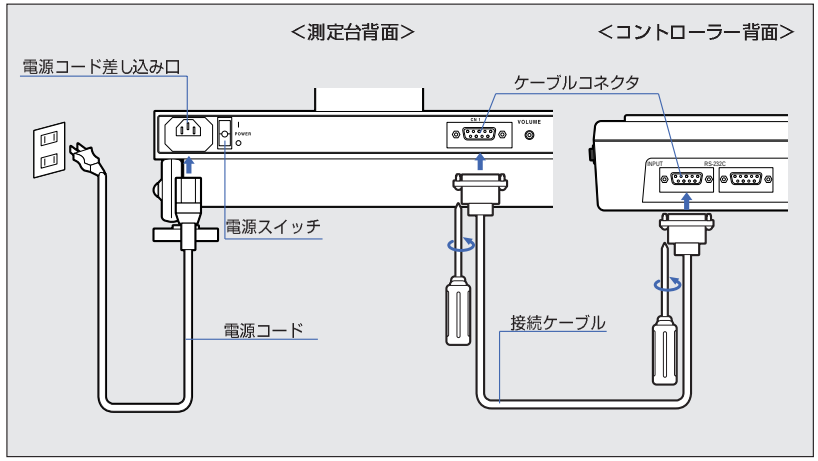
FEEDキー／STOPキー
印刷のとき以外で、プリント用ロール紙を送る時に使用します。
FEEDキーを1度押すとSTOPキーに変わり、STOPキーを押すことによりプリント用ロール紙のフィード（紙送り）が終り、オートカッターで紙が切り離されます。プリンタ動作を無効、または紙切れ時に紙を入れずに戻るを押したときは----に変わります。

切替キー
体内脂肪計ととして使用時に、一時身長体重計モードに切り替えます。

■数値を訂正するときは

●BS を押すと数字が一文字ずつ消え、
●消去 を押すと全て消えますので、再度入力してください。

準備する 接続方法とプリント用ロール紙の入れかた



■測定台とコントローラーの接続

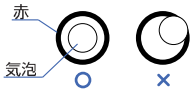
1. 測定台とコントローラーを接続ケーブルで接続してください。
2. 電源コードを測定台の電源コード差し込み口に差し込んでください。
3. 電源コードのプラグ側をコンセントに差し込んでください。

⚠警告 感電の原因となることがありますので、濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

水平の確認

●正しい計量を行うために、なるべく平らな場所に置いてください。
●水平器の気泡が中央にくるように4ヶ所の調整脚を回して調整してください。

<真上から見た状態>
気泡が赤枠の中心にくるような場所に設置してください。



お願い

■紙送りをうまくするために
- ●接着糊が残らないように、できるだけ水平に切り取る。
- ●ロール紙差し込み口に、まっすぐに差し込む。

■紙詰まりをさけるために
- ●プリント用ロール紙に赤い線が見えてきたら、ロール紙を交換する（☞44ページ）。
- ●プリント用ロール紙は、専用のロール紙を本装置の購入先でお買い求めください。

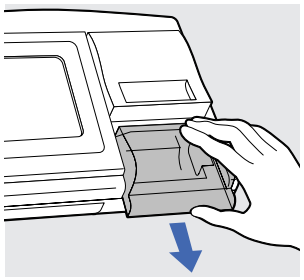
1



電源を入れる

身長計裏面（P.8参照）の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。

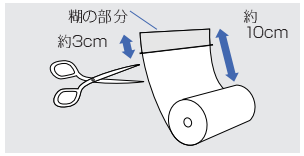
2



プリント用ロール紙カバーを外す

コントローラー背面に向かって、水平に引き抜くようにすると簡単に取り外せます。

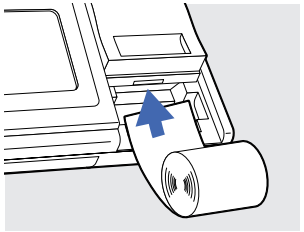
3



プリント用ロール紙を約10cm引き出し、約3cm(接着糊が残らない位置で)水平に切り取る

⚠ 接着糊がついていると、うまく紙送りができない場合がありますので 必ず切り取ってください（水平に切り取らないと、自動的に巻き取られません）。

4

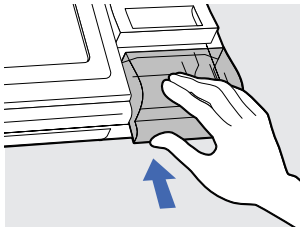


プリント用ロール紙を、スリットの間から差し込む

●プリント用ロール紙が自動的に巻き取られます。

⚠ プリント用ロール紙は、スリットにまっすぐ差し込んでください。

5



プリント用ロール紙カバーを戻します。

コントローラー背面から、水平にすべらせるようにすると簡単に取り付けられます。

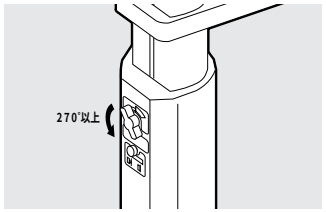
※ プリント用ロール紙の端に小さなシワが発生した場合は
1 を押して「体内脂肪計モード」に進み FEED を押して下さい。
FEED が STOP に変わり、プリント用ロール紙が送られます。
STOP を押してプリント用ロール紙を切り取ってください。
※ プリント用ロール紙は、専用ロール紙を使用してください。

⚠注意 紙詰まりの原因となりますので、プリント用ロール紙に赤いラインが出てきましたらプリント用ロール紙を交換してください。

準備する 上段支柱を伸ばす

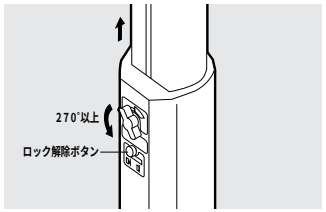
測定する時
＜上段支柱の伸ばし方＞

1



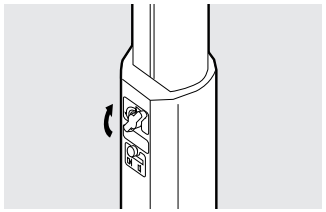
固定位置からハンドルを270°以上左へ回したまま

2

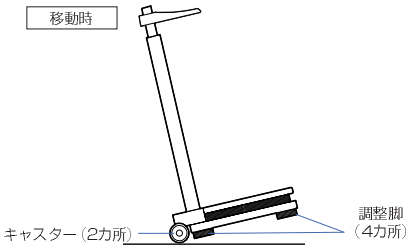


ロック解除ボタンがカチッとなるまで伸ばして下さい。

3

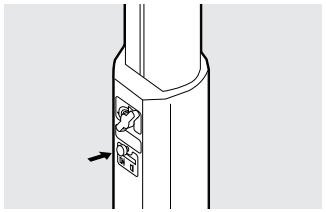


※測定誤差防止の為、必ず固定位置までハンドルを回して下さい。



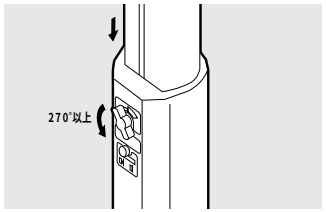
移動する時
＜上段支柱の縮め方＞

1



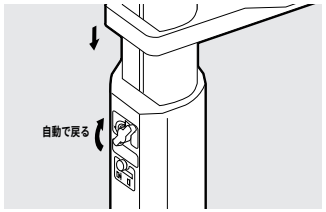
押す（ロック解除）

2



固定位置からハンドルを270° 以上左へ回したまま上段支柱を下げる。

3



上段支柱が底面にあたるまで下げて、必ず固定位置までハンドルを回して下さい。

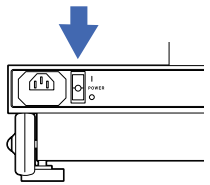
⚠上段支柱が飛び出す可能性があるので、移動時及び収納時は必ずハンドルを固定位置にして下さい。

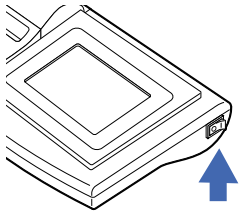


いろいろな設定 設定のしかた

設定画面を呼び出す

1





身長計とコントローラーの電源を入れる

身長計裏面とコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。（P.8参照）

●初期画面が表示されます。

2



（初期画面）

設定 を押す

●各種設定画面が表示されます。



（設定項目画面）

以下の項目から選択してください。

1 日・時を登録する
2 測定モードを決める
3 印刷のしかたとパソコンでの操作を決める
4 画面に表示する項目を決める
5 印刷する項目を決める
6 身長計の設定をする
7 設定画面を終わる

いろいろな設定 設定のしかた(つづき)

■確認：13ページの手順は、済んでいますか？

1：時間設定

3 (設定項目画面)で1を押す
●時間設定画面が表示されます。



4 現在の日付と時間を入力する
「年/月/日.時:分」の順に2桁づつ数値を入力していきます。
例: 2002年2月19日18時3分を入力の場合は、
0 2 / 0 2 / 1 9 _ 1 8 : 0 3
の順に押してください。

※1月～9月の場合は
最初に0を押してください。

※入力をまちがえた時は
消去を押してください。入力がクリアーされます。

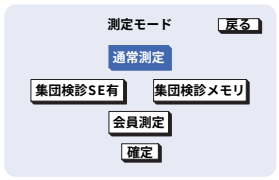
※途中で入力を終了したい時は
戻るを押してください。日付と時間は変更されず、各種設定画面に戻ります。



5 確定を押す
●各種設定画面に戻ります。

2：測定モード

3 (設定項目画面)で2を押す
●測定モード画面が表示されます。



4つの測定モードから、使用するモードを1つ選択する

A. 通常測定 モード(P.18)
通常のモードです。コントローラー内には測定データは記録されません(データ管理は、外部コンピュータとの接続によって可能です)。

B. 集団検診SE有 モード(P.20)
集団検診がスピーディーに行える専用モードです。SE番号が測定終了ごとに自動的に1つずつ増えますので、SE番号を入力するわずらわしさがありません。コントローラー内には測定データは記録されません(データ管理は、外部コンピュータとの接続によって可能です)。

C. 集団検診メモリ モード(P.22)
学校などでの体脂肪率管理に便利なモードです。最大200人分のデータ管理が、コントローラー内蔵のメモリで可能です。データ管理には、登録番号(001～200)の登録が必要です。

D. 会員測定 モード(P.25)
アスレチックジムなどの会員の体脂肪率管理に便利なモードです。最大500人分のデータ管理が、コントローラー内蔵のメモリで可能です。データ管理には、登録番号(001～500)と暗証番号(4桁)の登録が必要です。

※測定モードの変更を行わない場合には、戻るを押してください。測定モードは変更されず、各種設定画面に戻ります。

4 確定を押す
●各種設定画面に戻ります。

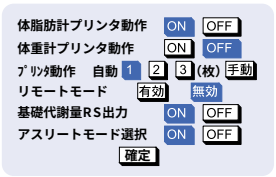
■各種の設定を続けて行うときは⇨それぞれの番号を押して設定する。
■設定内容は、変更するまで記憶されます。

ご使用まえに

■確認：13ページの手順は、済んでいますか？

3：プリンター・RS232C・その他の設定

3 (設定項目画面)で3を押す
●プリンターとリモートモード設定画面が表示されます。



それぞれの動作を選択する

A. 体脂肪計プリンタ動作
体脂肪計としてご使用時の、プリンタのON/OFFの切り換えを行います(画面の場合はONです)。

B. 体重計プリンタ動作
体重計としてご使用時の、プリンタのON/OFFの切り換えを行います(画面の場合はOFFです)。

C. プリンタ動作
上記A,Bで、プリンタ動作をONに設定している場合のプリント枚数及び手動／自動の切り換えを行います(画面の場合は1枚自動プリントされます)。

D. リモートモード
外部接続したコンピュータからのコントロールの有効／無効を設定します。有効にした場合、再度無効にするまでコントローラーからの操作はできなくなりますのでご注意ください(画面の場合は無効です)。

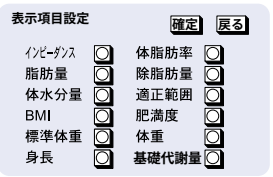
E. 基礎代謝量RS出力
パソコンへの送信データに基礎代謝量を出力する/しないを設定します(画面の場合は出力されます)。

F. アスリートモード選択
アスリートを選択できるようにする/しないを設定します(画面の場合は選択できます)。

4 確定を押す
●各種設定画面に戻ります。

4：表示項目設定

3 (設定項目画面)で4を押す
●表示項目設定画面が表示されます。



4 表示内容を選択する
○の付いている項目が表示されます。
×の付いている項目は表示されません。
表示したくない項目がある場合、その項目の○に触れてください。表示が×に変わり設定終了後から表示されなくなります。(再度表示を切り換える場合には、改めてその項目の×に触れてください。表示が○に変わり、設定終了後から表示されます)。
※表示項目設定の変更を行わない場合には、戻るを押してください。表示項目は変更されず、各種設定画面に戻ります。

5 確定を押す
●各種設定画面に戻ります。

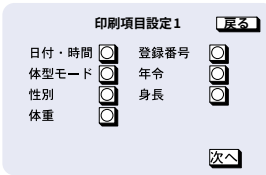
■各種の設定を続けて行うときは⇨それぞれの番号を押して設定する。
■設定内容は、変更するまで記憶されます。

■確認：13ページの手順は、済んでいますか？

5：印刷項目設定

3 （設定項目画面）で[5]を押す

●印刷項目設定1の画面が表示されます。

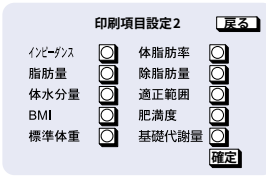


4 印刷内容を選択する

●印刷したくない項目は、
⇨その項目の○を押す。
（×に変わり、印刷されなくなります。）
●印刷したいときは、
⇨その項目の×を押す。
（○に変わり、印刷されます。）
※変更を行わない場合には、[戻る]を押してください。
印刷項目は変更されず、各種設定画面に戻ります。

5 [次へ]を押す

●印刷項目設定2の画面が表示されます。



印刷内容を選択する

●印刷したくない項目は、
⇨その項目の○を押す。
（×に変わり、印刷されなくなります。）
●印刷したいときは、
⇨その項目の×を押す。
（○に変わり、印刷されます。）
※変更を行わない場合には、[戻る]を押してください。
印刷項目は変更されず、各種設定画面に戻ります。

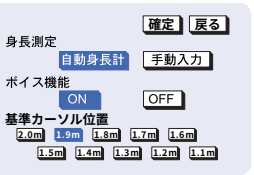
7 [確定]を押す

●各種設定画面に戻ります。

6：身長計設定

3 （設定項目画面）で[6]を押す

●身長計設定画面が表示されます。



各モードを設定する

A. 身長測定

2つの設定のどちらかを選択してください。

a) 自動身長計
体内脂肪計及び身長体重計としてご使用の場合、身長が自動的に計測されます。

b) 手動入力
体内脂肪計及び身長体重計としてご使用の場合、身長を数値で任意に入力します。

B. ボイス機能

2つの設定のどちらかを選択してください。
音声によるガイダンスのON/OFF切り替えに使用します。

a) ON
各モードで、音声により手順を知らせます。

b) OFF
音声による説明がありません。
音声が出ているときより、動作は早くなります。

C. 基準カーソル位置

自動身長計のカーソルのスタート位置を選択します。

4 [確定]を押す

●各種設定画面に戻ります。

■各種の設定を続けて行うときは
⇨それぞれの番号を押して設定する。
■設定内容は、変更するまで記憶されます。
■各種の設定がすべて終了したときは
⇨設定項目画面で[終了]を押す（P.13）
（初期画面に戻ります）。

体脂肪率の測定はP.14の「測定モード」で選択した測定モードが有効になります

A. 通常測定 を選択している場合⇨P.18をご覧下さい
B. 集団検診SE有 を選択している場合⇨P.20をご覧下さい
C. 集団検診メモリ を選択している場合⇨P.22をご覧下さい
D. 会員測定 を選択している場合⇨P.25をご覧下さい

体型・性別選択のアスリートについて

■18才以上の成人の方で、測定者ご自身がアスリートと判断される方や、次の条件に当てはまる方は、アスリート（男または女）を選択され、参考値としての測定をお勧めいたします。
●一週間に12時間以上のトレーニングを行っている方。
●体育会やスポーツ事業団に所属し、競技会などを目指している方。
●ボディビルダーのように筋肉量が多くなるようなトレーニングを行っている方。
●プロスポーツ選手。

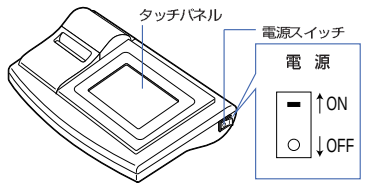
お願い

■測定時の姿勢は…
●電極板の上へ両足を平行に。
●ひざ、ひじを曲げずに、正面を向いて。
●両手は自然に降ろして。
●本体に寄りかからない。
■年令の入力は7才～99才です。
100才以上の方は、99才で入力してください。

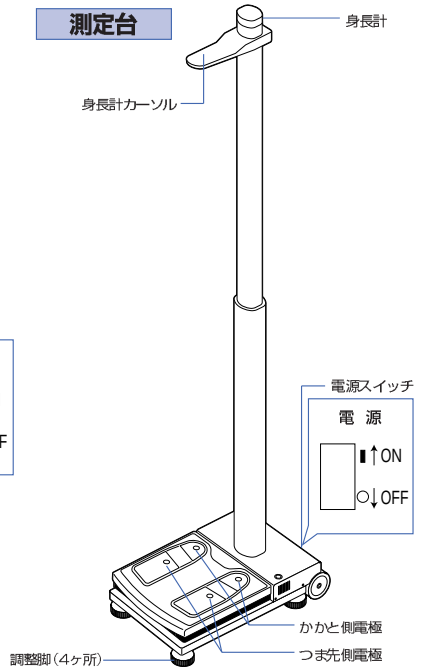
お知らせ

●アスリートと判断される方でも、測定が競技会の前後や激しいトレーニングの後には、インピーダンスが大きく変動するため、これを基に算出される体組成も変化してしまい、正確な測定ができない場合があります。
●体型・性別の項目でアスリートを選んだ場合でも年令が17才以下の場合は自動的にスタンダードに変更になります。
●着衣の重さを入力すると、測定値は着衣の重さを引いて表示されます。

コントローラー



測定台



はかりかた 「通常測定」モードでの測定方法

「A：通常測定」モードで測定する

1 電源を入れ 1 を押す



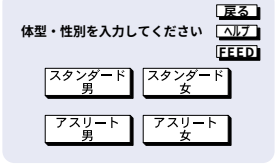
身長計裏面の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。（P.8参照）

2 着衣の重さを入力する



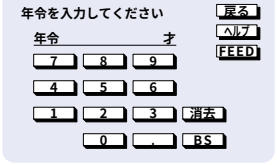
例：2.0kgの場合は、
2 . 0 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。
※着衣量は最大200.0kgまで入力できます。

3 体型・性別を選択する



4項目のなかから、自分にあった項目を選択します。
※アスリートモード選択をOFFに設定した場合は、
アスリートは選択できません。（P.15）

4 年令を入力する



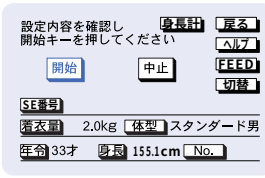
例：33才の場合は
3 3 の順に押してください。
※年令が7才～9才の方の場合は、初めに 0 を入力してください。
※17才以下で入力した場合は自動的にスタンダードモードで測定されます。
※数値を訂正したい場合は、BS 消去 を押すと入力した数字が全て消えます。再度入力し直してください。

5 身長を入力する



※身長計設定を 自動身長計 に設定している場合は、この項目は表示されません。（P.16の「身長計設定」を参照してください。）
例：155.1cmの場合は
1 5 5 . 1 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。

6 設定内容を確認し、開始 を押す



＜測定開始画面＞



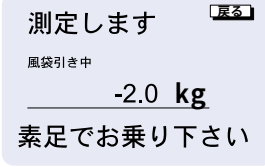
※身長計設定を 自動身長計 に設定している場合は、身長 の項目は表示されません。（P.16の「身長計設定」を参照してください。）

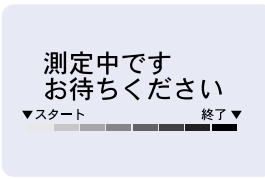
設定内容を変更したい場合
変更したい着衣量、体型、年令、身長のいずれかのキーを押すと入力画面に戻ります。数値を入力してください。
（次の設定内容に自動的に移ります。）
※測定を中止したい場合は、中止 を押してください。初期画面に戻ります。
※身長計 を押すと、ウインドウが開き、カーソル開始位置を10cm単位で上下させる事が出来ます。

変更内容が正しいことを確認後、開始 を押す

「しばらくお待ちください」表示後「測定します」表示に変わります。
※「測定します」表示に変わる前に測定台にのりますと、画面にエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って操作をやり直してください。
（切替 を押した場合は、身長と体重のみの測定となります。）

7 測定台に乗る



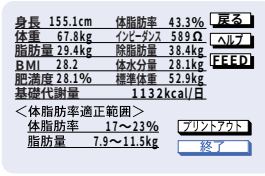


電極の上に両足が平行になるようにおのりください。この時、つま先側電極とかかと側電極にまたがるように足を置いてください。また、ひざを曲げないで、正面を向いて静かな姿勢でお立ちください。

⚠注意 身長計には寄りかからないでください。

体重・体脂肪率が測定されます。
体重の測定値が安定すると、「測定中です」が表示されます。
■■■■がすべて消灯する（終了のところまで届く）までそのまま静かにお待ちください。
※途中で降りるとエラー表示されます。戻る を押して再度測定し直してください。
※身長計設定を自動身長計に設定している場合は、身長計カーソルが降りる（身長計測する）までしずかにお待ちください。（P.16）

8 測定を終了する



測定台から降りてください。
※プリンター RS232C その他の設定で 脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されますが、作動しません。
※プリンター RS232C その他の設定で 脂肪計プリンタ動作が ON 、プリンタ動作が 1 ～ 3 に設定されている場合、この画面は一瞬だけ表示した後 自動的にプリントアウトされ ステップ6に戻ります。

終了 を押し、測定を終了する

はかりかた 「集団検診SE有」モードでの測定方法

「B：集団検診SE有」で測定する

1 電源を入れ 1 を押す

身長計裏面の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。（P.8参照）



2 着衣の重さを入力する

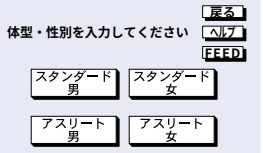
例：2.0kgの場合は、
2 . 0 の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、
①BSを押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。
※着衣量は最大200.0kgまで入力できます。



3 体型・性別を選択する

4項目の中から、自分にあった項目を選択します。



4 年令（または体型 成人 子供 ）を入力する

例：33才の場合は
3 3 の順に押してください。

※年令が7才～9才の方の場合は、初めに0を入力してください。
※成人 子供 は、年令を省くことによって測定時間の短縮をはかる場合に有効な固定モードです（測定ごとに変更は可能です）。
※17才以下で入力した場合は、自動的にスタンダードモードで測定されます。
※数値を訂正したい場合は、消去 を押すと入力した数字が全て消えます。再度入力し直してください。
※成人：18才以上の方
※子供：7～17才以下の方

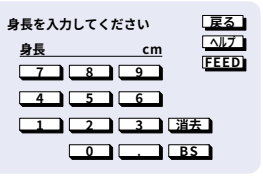


5 身長を入力してください。

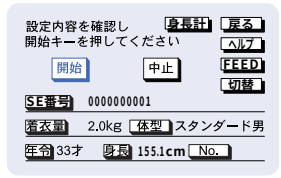
※身長計設定を 自動身長計 に設定している場合は、この項目は表示されません(P.16の「身長計設定」を参照してください)。

例：155.1cmの場合は
1 5 5 . 1 の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、
①BSを押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。



6 設定内容を確認し 開始 を押す



＜測定開始画面＞



※身長計設定を 自動身長計 に設定している場合は、 身長 の項目は表示されません。また、この画面では音声出力はされません。

設定内容を変更したい場合

変更したい着衣量、体型、年令、身長のいずれかのキーを押すと入力画面に戻ります。数値を入力してください。
（次の設定内容に自動的に移ります。）

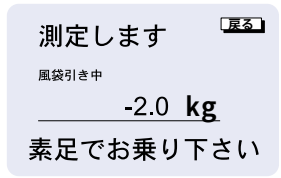
※電源投入後のSE番号の初期値は0000000001です。
※SE番号の変更を行う場合は、10桁までの数字を入力してください。
※測定を中止したい場合は、中止 を押してください。初期画面に戻り、SE番号は初期値に戻ります。
※身長計 を押すと、ウインドウが開き、カーソル開始位置を10cm単位で上下させる事が出来ます。

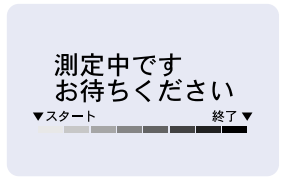
変更内容が正しいことを確認後、開始 を押す

「しばらくお待ちください」表示後「測定します」表示に変わります。

※「測定します」表示に変わる前に測定台にのりますと、画面にエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って操作をやり直してください。（切替 を押した場合は、身長と体重のみの測定となります。）

7 測定台に乗る





電極の上に両足が平行になるようにおのりください。この時、つま先側電極とかかと側電極にまたがるように足を置いてください。また、ひざを曲げないで、正面を向いて静かな姿勢でお立ちください。

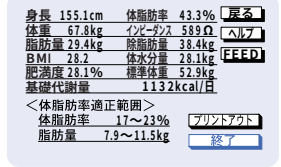
⚠注意 身長計には寄りかからないでください。

体重・体脂肪率が測定されます。

体重の測定値が安定すると、「測定中です」が表示されます。
■■■■がすべて消灯する（終了のところまで届く）までそのまま静かにお待ちください。

※身長計設定を自動身長計に設定している場合は、身長計カーソルが降りる（身長計測する）までしずかにお待ちください。

8 測定を終了する



測定台から降りてください。

※プリンター・RS232C・その他の設定で、脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されますが、作動しません。
※プリンター・RS232C・その他の設定で、脂肪計プリンタ動作が ON 、プリンタ動作が 1 ～ 3 に設定されている場合、この画面は一瞬だけ表示した後自動的にプリントアウトされ、ステップ6に戻ります。

終了 を押すと、SE番号が1つ繰り上がり、ステップ6の画面が表示されます。

はかりかた 「集団検診メモリ」モードでの測定方法

「C：集団検診メモリ」で測定する

1

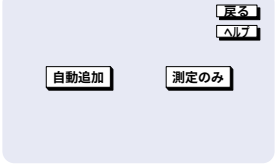
測定者に番号を付けて、データを一時的に本器に記憶したい場合に用います。
記憶は200人まで使用できます。No.200にデータを記憶させた場合は 次の測定ができません。
データを外部コンピュータに転送後、P.37『データ管理 [2] データ削除 のご使用方法』に基づき操作してください。



電源を入れ [1] 体内脂肪計 を押す

身長計裏面の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。（P.8参照）
初期画面が表示されます。

2



2つのいずれかのモードを選択する

a. 自動追加

メモリ内の登録番号の最大値を自動的に検索し、その次番号に新規登録します。

＜登録番号の変更＞

例）001番から050番まで登録されていて、060番から再登録したい場合は、[No] を押し、051番を060番に変更してください（P.23ステップ8参照）。

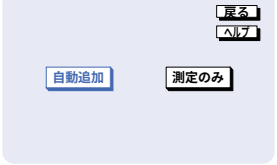
b. 測定のみ

通常のモードです。P.18『「A：通常測定」モードで測定する』をご参照ください。

※前画面に戻る場合には、[戻る] を押してください。

「a：自動追加」を使用する場合

3



モード選択画面で [自動追加] を選択する

4



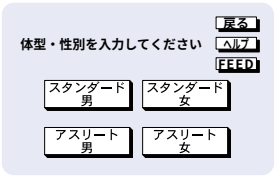
着衣の重さを入力する

例：2.0kgの場合は、
[2] [.] [0] の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、
① [BS] を押すと数字が1文字ずつ消えます。
② [消去] を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。

※着衣量は最大200.0kgまで入力できます。

5



体型・性別を入力する

4項目のなかから、自分にあった項目を選択します。

6



年令を入力する

例：33才の場合は
[3] [3] の順に押してください。

※年令が7才～9才の方の場合は、初めに [0] を入力してください。

※17才以下で入力した場合は、自動的にスタンダードモードで測定されます。

※数値を訂正したい場合は、[BS] または [消去] を押すと文字が消えます。再度入力し直してください。

7



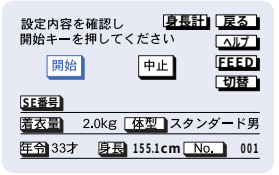
身長を入力する

※身長計設定を [自動身長計] に設定している場合は、この項目は表示されません。

例：155.1cmの場合は
[1] [5] [5] [.] [1] の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、
① [BS] を押すと数字が1文字ずつ消えます。
② [消去] を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。

8



設定内容を確認し [開始] を押す

※身長計設定を [自動身長計] に設定している場合は [身長] の項目は表示されません。

設定内容が間違っている場合、内容を変更することができます。変更したい [着衣量]、[体型]、[年令]、[身長]、[No.] のいずれかのキーを押すと入力画面に戻ります。数値を入力してください。次の設定内容に自動的に移ります。

※測定を中止したい場合は、[中止] を押してください。初期画面に戻ります。

※ [身長計] を押すと、ウインドウが開き、カーソル開始位置を10cm単位で上下させる事が出来ます。

変更内容が正しいことを確認後、[開始] を押す

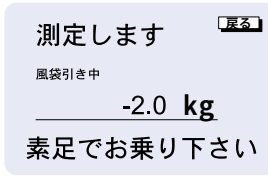
（[切替] を押した場合は、身長と体重のみの測定となります。）



「しばらくお待ちください」表示後「測定します」表示に変わります。

※「測定します」表示に変わる前に測定台にのりますと、画面にエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って操作をやり直してください。

9



測定台に乗る

電極の上に両足が平行になるようにおのりください。この時、つま先側電極とかかと側電極にまたがるように足を置いてください。また、ひざを曲げないで正面を向いて静かな姿勢でお立ちください。

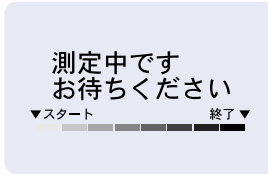
⚠注意 身長計には寄りかからないでください。

体重・体脂肪率が測定されます。

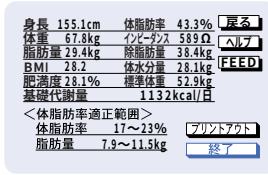
体重の測定値が安定すると、「測定中です」が表示されます。

■■■■がすべて消灯する（終了のところまで届く）までそのまま静かにお待ちください。

※身長計設定を自動身長計に設定している場合は、身長計カーソルが降りる（身長計測する）までしずかにお待ちください。



10



測定を終了する

測定台から降りてください。

※プリンター RS232C その他の設定で 脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されますが、作動しません。

※プリンター RS232C その他の設定で 脂肪計プリンタ動作が ON プリンタ動作が 1 ～ 3 に設定されている場合、この画面は一瞬だけ表示した後 自動的にプリントアウトされ、ステップ8に戻ります。

終了 を押し、測定を終了します。

登録番号が1つ繰り上がり、ステップ8の画面が表示されます。

「b：測定のみ」を使用する場合

3



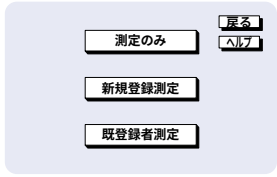
モード選択画面で 測定のみ を選択する

以降、P.18『「A：通常測定」モードで測定する』ステップ2～8をご参照ください。

「D：会員測定」で測定する

1





アスレチックジムなどの会員の体脂肪率の管理に便利なモードです。No.001からNo.500までのデータ管理がコントローラー内蔵のメモリで可能です。このモードを使用する場合、番号と暗証番号（4桁）の登録が必要です。また、既登録のデータを利用して測定することができ、最新のデータを既登録データに上書きします。

電源を入れ 1 を押してください。

身長計裏面（P.8参照）の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。

初期画面が表示されます。

3つのモードがあります。

a. **測定のみ**（P.25）

通常のモードです。コントローラー内には測定データは記録されません（データ管理は、外部コンピュータとの接続によって可能です）。登録番号・暗証番号の入力は必要ありません。

b. **新規登録設定**（P.26）

新規登録をして測定します。測定値はコントローラー内蔵のメモリに記録されます。データ管理のために登録番号・暗証番号の入力が必要です。

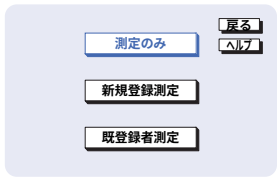
c. **既登録者設定**（P.28）

既登録データを利用して測定します。測定値はコントローラー内蔵のメモリに、最新データのみ記録されます。データ管理のために登録番号・暗証番号の入力が必要です。

※前画面に戻る場合には、戻る を押してください。

「a：測定のみ」を使用する場合

2



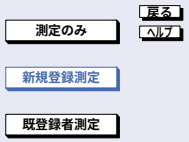
モード選択画面で 測定のみ を選択する

以降、P.18『「A：通常測定」モードで測定する』ステップ2～8をご参照ください。

はかりかた 「会員測定」モードでの測定方法（つづき）

「b：新規登録測定」を使用する場合

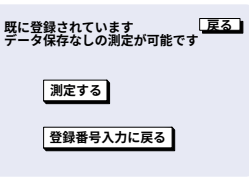
2 モード選択画面で 新規登録測定 を選択する



3 登録番号を入力する



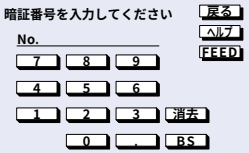
3桁の数字を入力してください。
No.001～500まで登録できます。
No.056に登録する場合、0 5 6 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。
入力した番号が既に登録されていた場合、左画面が表示されます。目的に合わせ、いずれかのキーを押してください。



測定する
データ保存されませんが、測定できます（測定モードで 通常測定 を選択した場合、及び会員測定モード時の各種モード選択画面で 測定のみ を選択した場合と同様です）。

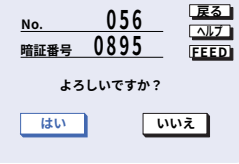
登録番号入力に戻る または 戻る
登録番号入力画面に戻ります。
再度登録番号を入力してください。

4 暗証番号を入力する



4桁の数字を入力してください。0895を登録する場合、0 8 9 5 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。

5 登録設定を終了する



正しく入力されていることを確認した後、はい を押してください。登録設定が完了します。
※登録内容を訂正したい場合は、戻る を押してください。押すごとに1つ前の画面に戻ります。また、いいえ を押した場合、ステップ1の画面まで戻ります。

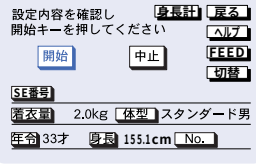
⚠注意 暗証番号は必ずメモ等に控え、大切に保管してください。

6 各項目を設定する



P.18『「A：通常測定」モードで測定する』ステップ2～5をご覧ください。

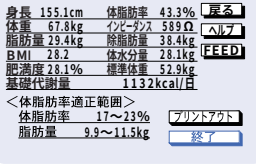
7 設定内容を確認し 開始 を押す



＜測定開始画面＞

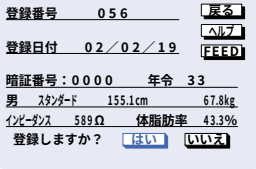
P.19『「A：通常測定」モードで測定する』ステップ6～7をご覧ください。

8 測定を終了する



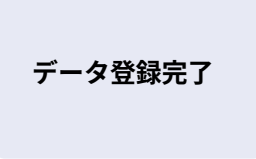
測定台から降りてください。
※プリンター RS232C その他の設定で、脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されますが、作動しません。
※プリンター RS232C その他の設定で、脂肪計プリンタ動作が ON 、プリンタ動作が 1 ～ 3 に設定されている場合、この画面は一瞬だけ表示した後、自動的にプリントアウトされます。
終了 を押します。

9 データを登録する



目的に合わせ、いずれかのキーを押してください。
はい データを登録して終了します。
いいえ データを登録しないで終了します。
戻る データを登録しないで終了します。
※測定開始画面で 切替 を選択した場合は、この画面は表示されません。

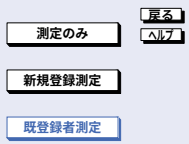
データ登録が完了する



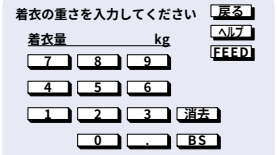
はかりかた 「会員測定」モードでの測定方法（つづき）

「c：既登録者測定」を使用する場合

2 モード選択画面で 既登録者測定 を選択する

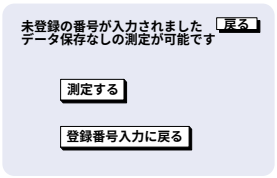


3 登録番号を入力する



3桁の数字を入力してください。測定者の登録番号を正しく入力してください。No.056の方の測定をする場合、0 5 6 の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。



未登録の番号を入力した場合、左画面が表示されます。
目的に合わせ、いずれかのキーを押してください。

測定する
データ保存されませんが、測定できます（測定モードで 通常測定 を選択した場合、及び会員測定モード時の各種モード選択画面で 測定のみ を選択した場合と同様です）。

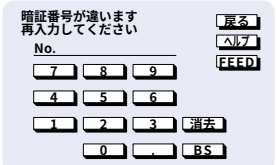
登録番号入力に戻る または 戻る
登録番号入力画面に戻ります。
再度登録番号を入力してください。

4 暗証番号を入力する



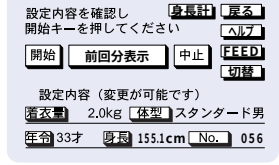
0895を入力する場合、0 8 9 5 の順に押してください。

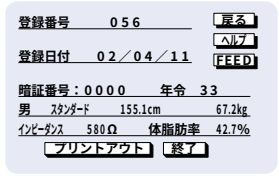
※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。



暗証番号が間違って入力されると、左画面が表示されます。
再入力してください。

5 登録データを確認する





※身長計設定を 自動身長計 に設定している場合は 身長 の項目は表示されません。

目的に合わせ、いずれかのキーを押してください。

開始 体脂肪率測定に入ります。

中止 体脂肪率測定を中止し、初期画面に戻ります。

戻る 登録番号入力画面に戻ります。

設定内容を変更したい場合、着衣量 体型 年令 身長 No. それぞれ変更したいキーを押してください。変更後、登録データ確認画面に戻ります（変更を中止したい場合は 戻る を押してください）。

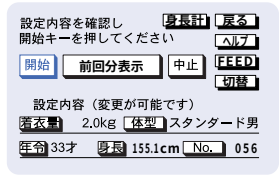
前回分表示
前回登録されたデータを見ることができます。
※ 前回分表示 は、設定値の体型、年令、身長がメモリされていたデータに変更されてしまいますので、設定内容を変更する場合は 前回分表示 の後に行ってください（着衣量は、現在の設定値になります）。
前回のデータの読み出しが完了し、体型、身長、年令が表示されます。設定内容を確認してください。

プリントアウト ：前回のデータが印刷されます。
※ プリンター RS232C その他の設定で、脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されません。

終了 ：登録データ確認画面に戻ります。

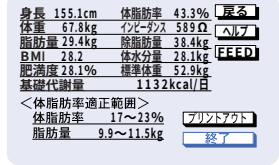
戻る ：登録データ確認画面に戻ります。

6 設定内容を確認し 開始 を押す



P.19『「A：通常測定」モードで測定する』ステップ6～7をご覧ください。

7 測定を終了する



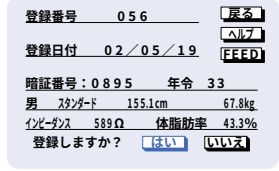
測定台から降りてください。

※プリンター RS232C その他の設定で、脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されますが、作動しません。

※プリンター RS232C その他の設定で、脂肪計プリンタ動作が ON 、プリンタ動作が 1 ～ 3 に設定されている場合、この画面は一瞬だけ表示した後、自動的にプリントアウトされます。

終了 を押します。

8 データを登録する



目的に合わせ、いずれかのキーを押してください。

はい データを登録して終了します。

いいえ データを登録しないで終了します。

戻る データを登録しないで終了します。

※測定開始画面で 切替 を選択した場合は、この画面は表示されません。

体重計としてのご使用方法

※このモードでは、ボイス機能は作動しません。

体重測定の手順

1



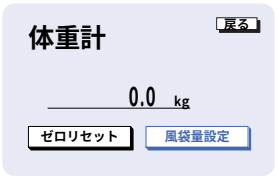
電源を入れ 2 を押す

身長計裏面（P.8参照）の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。
初期画面が表示されます。



「888888kg」表示後、「0.0kg」が表示されます。
※測定台に何ものっていない状態で、「0.0kg」が表示されない（「0.0kg」に戻らない）場合、ゼロリセット を押して表示を「0.0kg」に戻してください。

2



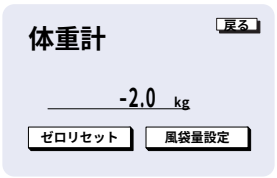
風袋量を設定する場合は

風袋量設定 を押す
※風袋量設定が必要ない場合は、ステップ4に進んでください。



例：2.0kgの場合は、
2 . 0 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。
※着衣量は最大200.0kgまで入力できます。

3



測定台に乗る

体重が表示されます。
体重が安定しますと、プリンター・RS232C・その他の設定で、体重計プリンタ動作を ON にしている場合、自動的にプリントアウトします。
※プリンター・RS232C・その他の設定で、体重計プリンタ動作が ON 、プリンタ動作が 手動 に設定されている場合、自動的に1枚プリントアウトされます。

⚠注意 身長計には寄りかからないでください。

4



測定を終了する

測定値を確認後、測定台から降りてください。
戻る を押すと、初期画面に戻ります。

使いかた

身長体重計としてのご使用方法

※各種設定モードで、身長計 の『身長測定』を 自動身長計 に設定してご使用ください。『身長測定』を 手動入力 に設定している場合、身長は自動計測されません。(P.16)

身長体重測定の手順

1 電源を入れ 3 を押す



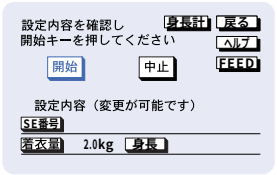
身長計裏面の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。(P.8参照)
初期画面が表示されます。

2 着衣の重さを入力する



例：2.0kgの場合は、
2 . 0 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。
※着衣量は最大200.0kgまで入力できます。

3 設定内容を確認し 開始 を押す

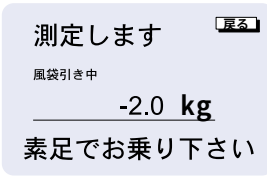


着衣量を変更する場合は、着衣量 または 戻る を押し、再度入力し直してください。
※測定を中止したい場合は、中止 を押してください。初期画面に戻ります。
設定内容が正しいことを確認後、開始 を押してください。

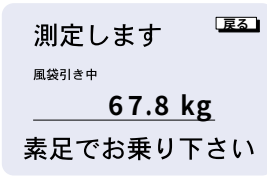


「しばらくお待ちください」表示後「測定します」表示に変わります。

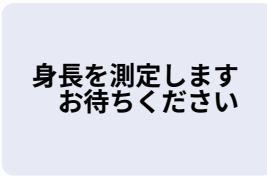
4 測定台に乗る



ひざを曲げないで、正面を向いて静かな姿勢でお立ちください。
⚠注意 身長計には寄りかからないでください。

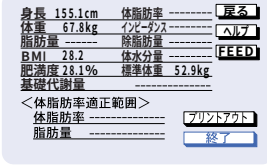


体重が測定されます。
体重の測定値が安定するまでそのまま静かにお待ちください。
※身長計 カーソルが降りる(身長計測する)まで静かにお待ちください。



身長が測定されます。
「身長設定」が手動入力の場合はステップ5に移ります。

5 測定を終了する



測定台から降りてください。
※プリンター RS232C その他の設定で、脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されますが、作動しません。
※プリンター RS232C その他の設定で、脂肪計プリンタ動作が ON、プリンタ動作が 1 ～ 3 に設定されている場合、この画面は一瞬だけ表示した後、自動的にプリントアウトされ、ステップ3に戻ります。
終了 を押すと、ステップ3に戻ります。

使いかた

データ管理 内容一覧の表示方法

測定モードで 集団検診メモリ 及び 会員測定 で保存したデータを管理する機能です。
※このモードでは、ボイス機能は作動しません。

データ管理一覧を表示する

1



電源を入れ 4 を押す

身長計裏面の電源スイッチ及びコントローラー右側面の電源スイッチをONにしてください。(P.8参照)
初期画面が表示されます。

2



測定データモードを選択する

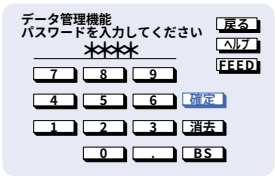
データ管理の各種モード画面が表示されます。
データ管理には2つのモードがあります。

A. 会員測定 モード
各種設定モードの 測定モード で 会員測定 で登録されているデータの管理をします。

B. 集団検診 モード
各種設定モードの 測定モード で 集団検診メモリ で登録されているデータの管理をします。

※前画面に戻る場合には 戻る を押してください。

3



パスワードを入力する(会員測定 モードのみ)。

データ管理者のパスワードが必要です。4桁の数字を入力してください。

⚠ パスワードは必ずメモ等に控え、大切に保管してください。パスワードを忘れますと、データ管理機能が使用できなくなります。

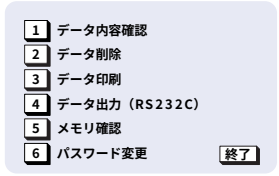
例) 0895を登録している場合、
0 8 9 5 の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、
① BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
② 消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
再度入力し直してください。

※出荷時は 0 0 0 0 に設定されています。

※ 集団検診 を選択した場合、この画面は表示されません。

4



パスワード入力が終了したら、確定 を押す

操作内容一覧

会員測定 集団検診 それぞれで6つのモードが選択できます。

目的に合わせ、いずれかの数字キーを押してください。

1 データ内容確認
登録されている測定データの内容を確認できます。

2 データ削除
登録されている測定データの内容を削除できます。

3 データ印刷
登録されている測定データの内容を印刷できます。

4 データ出力(RS232C)
登録されている測定データの内容を外部コンピュータにデータ出力できます。

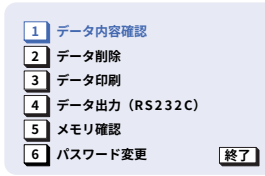
5 メモリ確認
登録されている測定データの登録件数及びメモリ残量が確認できます。

6 パスワード変更
データ管理に必要なパスワードの変更ができます。パスワードは 会員測定 選択時のみ有効です。

データ管理 内容確認／削除

1 データ内容確認のご使用方法

1



内容一覧画面で 1 を押す

2



登録番号を入力する（3桁の数値を入力してください）。

確認したいデータの登録番号を入力してください。

No.056を入力する場合 0 5 6 の順に押してください。

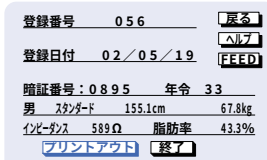
※数値を訂正したい場合は、

①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。

②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。

入力し終わりましたら 確定 を押してしてください。

3



データ内容を確認する

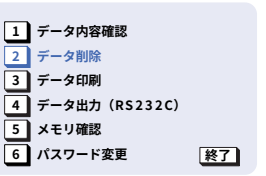
※プリンター RS232C その他の設定で 脂肪計プリンタ動作を OFF に設定している場合、プリントアウト は表示されますが、作動しません。

※プリンター RS232C その他の設定で 脂肪計プリンタ動作が ON 、プリンタ動作が 1 ～ 3 に設定されている場合、プリントアウト を押すと、1枚だけプリントアウトされます。

終了 を押すと、ステップ2に戻ります。

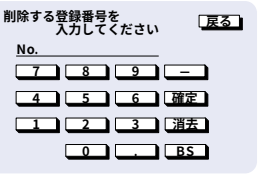
2 データ削除のご使用方法

1



内容一覧画面で 2 を押す

2



削除する登録番号を入力する

No.001からNo.056を削除する場合、

0 0 1 - 0 5 6 の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、

① BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。

② 消去 を押すと入力した数字が全て消えます。

※No.005 1人分のデータを削除する場合、

0 0 5 - 0 0 5 の順に押してください。

入力し終わりましたら 確定 を押してしてください。

3



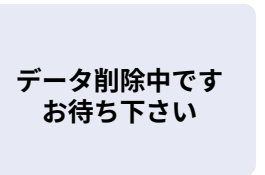
データを削除する

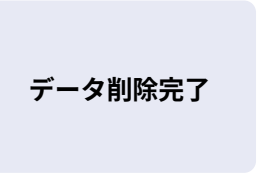
はい を押してください。

※削除をやめる場合は、いいえ を押してください。

※削除する番号を変更する場合は、戻る を押して前画面に戻り、入力し直してください。

※データ数が多いと時間がかかる場合があります。





「データ削除中です お待ち下さい」「データ削除完了」の画面が表示され、ステップ1に戻ります。

データ管理 印刷／出力

3 データ印刷のご使用方法

1

1 データ内容確認
2 データ削除
3 データ印刷
4 データ出力（RS232C）
5 メモリ確認
6 パスワード変更 終了

内容一覧画面で 3 を押す

2

印刷する登録番号を入力してください 戻る
No.
7 8 9 ー
4 5 6 確定
1 2 3 消去
0 . BS

印刷する登録番号を入力する

No.001からNo.056を印刷する場合、
0 0 1 - 0 5 6 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
① BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
② 消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
※No.005 1人分のデータを印刷する場合、
0 0 5 - 0 0 5 の順に押してください。
入力し終わりましたら 確定 を押してしてください。

3

戻る
データを印刷します
001 から 056
よろしいですか？ はい いいえ

データを印刷する

はい を押してください。
※印刷をやめる場合は、いいえ を押してください。
※印刷する番号を変更する場合は、戻る を押して前画面に戻り、入力し直してください。
※登録されている範囲外の番号を印刷した場合、指定範囲内で登録されているデータが印刷されます。

印刷中です。しばらくお待ち下さい。
印刷中は画面の乱れが発生することがありますが、動作に支障はありませんのでご安心下さい

「印刷中です。しばらくお待ち下さい。」「データ印刷完了」の画面が表示され、ステップ1に戻ります。

データ印刷　完了

4 データ出力（RS232C）のご使用方法

1

1 データ内容確認
2 データ削除
3 データ印刷
4 データ出力（RS232C）
5 メモリ確認
6 パスワード変更 終了

※データ出力をするには、外部コンピュータとの接続が必要です。詳しくはP.49『パソコンと接続するとき』をご参照ください。

内容一覧画面で 4 を押す

2

出力する登録番号を入力してください 戻る
No.
7 8 9 ー
4 5 6 確定
1 2 3 消去
0 . BS

出力する登録番号を入力する

No.001からNo.056を出力する場合、0 0 1 - 0 5 6 の順に押してください。
※数値を訂正したい場合は、
① BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。
② 消去 を押すと入力した数字が全て消えます。
※No.005 1人分のデータを出力する場合、0 0 5 - 0 0 5 の順に押してください。
入力し終わりましたら 確定 を押してしてください。

3

戻る
データを出力します
001 から 056
よろしいですか？ はい いいえ

データを出力する

はい を押してください。
※出力をやめる場合は、いいえ を押してください。
※出力する番号を変更する場合は、戻る を押して前画面に戻り、入力し直してください。
※登録されている範囲外の番号を出力した場合、指定範囲内で登録されているデータが出力されます。

データ出力中です
お待ちください

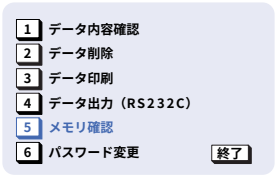
「データ出力中です　お待ちください」「データ出力完了」の画面が表示され、ステップ1に戻ります。

データ出力完了

データ管理 メモリ確認／パスワード変更

5 メモリ確認のご使用方法

1



内容一覧画面で 5 を押す

2



メモリを確認する
（画面は 会員測定 モードの場合です）。

確認が終わりましたら 戻る を押してしてください。確認を終了します。

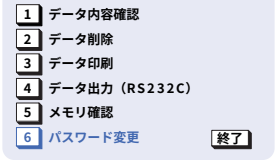
※データ数が多いと時間がかかる場合があります。

※ 集団検診メモリ モードの場合、200人登録で100%です。

※ 会員測定 モードの場合、500人登録で100%です。

6 パスワード変更のご使用方法

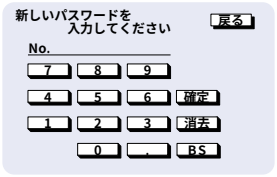
1



※このモードは、会員測定 選択時のみ有効です。

内容一覧画面で 6 を押す

2



新しいパスワードを入力する

4桁の数字を入力してください。0896を登録する場合、0 8 9 6 の順に押してください。

※数値を訂正したい場合は、

①BS を押すと数字が1文字ずつ消えます。

②消去 を押すと入力した数字が全て消えます。

再度入力し直してください。

入力し終わりましたら 確定 を押してしてください。パスワード変更が終了します。

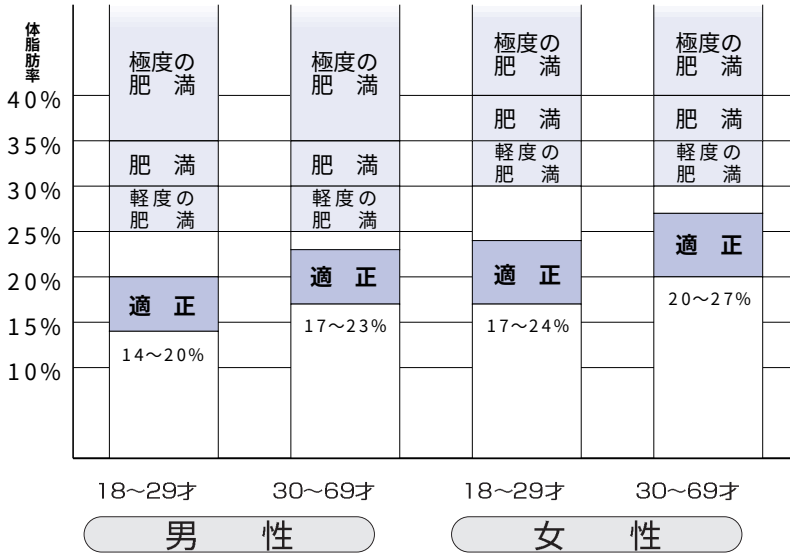
⚠ パスワードは必ずメモ等に控え、大切に保管してください。パスワードを忘れますと、データ管理機能が使用できなくなります。

はかりかた 体脂肪率の判定

■体脂肪率による判定基準（18才～69才用）

7才以上～17才以下と70才以上の方、妊娠中や人工透析中の方、またはむくみ症状がある方の場合は、絶対値としてではなく、参考値として変化の推移を見られることをお勧めします。

（BIAを用いた、東京慈恵会医科大学健康医学科にて適用されている値を参考にしています。）



■印刷（プリントアウト）の説明

インピーダンス
からだが持っている電気抵抗のことで、電気を通しやすい筋肉量が増えるとこの値は下がっていきます。

体脂肪率
体重に対して脂肪がどれだけであるかを示したもので、%で表示されます。P.41の判定基準表をごらんください。

脂肪量
からだの脂肪分だけの重さを表したものです。

除脂肪量
体重から脂肪の重さを除いた、脂肪以外の成分（筋肉、水分、骨など）の重さです。

体水分量
からだ中の水分量を表したものです。通常体重の50～70%であると言われます。女性よりも筋肉量の多い男性が多くなる傾向があります。

基礎代謝量
呼吸や循環など、安静時における通常の機能を維持するために体が消費する全エネルギーを表します。

BMI
Body Mass Index（ボディ マス インデックス）の略で、「体重／身長(m)²」で計算されます。疾病が少ないのは「22」とされています。

標準体重
「身長(m)²×22」で計算した値を標準体重としています。

肥満度
$\frac{(体重-標準体重)}{標準体重} \times 100$で
計算した値を肥満度として表します。

＜通常の測定データの印刷例＞

TANITA
体内脂肪計 BF-220
'02/01/05 18:03

体型モード	スタンダード
性別	男性
年令	26才
身長	175.6cm
体重	69.6kg
インピーダンス	418Ω
体脂肪率	16.1%
脂肪量	11.2kg
除脂肪量	58.4kg
体水分量	42.7kg
基礎代謝量	1681kcal
BMI	22.6
標準体重	67.8kg
肥満度	2.7%
体脂肪率適正範囲	
	14.0～20.0%
	9.5～14.6kg

（お知らせ）

・BMI、標準体重、肥満度はスタンダードの18～99才を入力時のみに出力されます（アスリート入力時にはこれらは出力されません）。
・体脂肪率適性範囲は「集団検診SE有」モードで年令入力を、[成人]、[子供]で行った場合には出力されません。

■データ保存内容及び表示・印刷内容

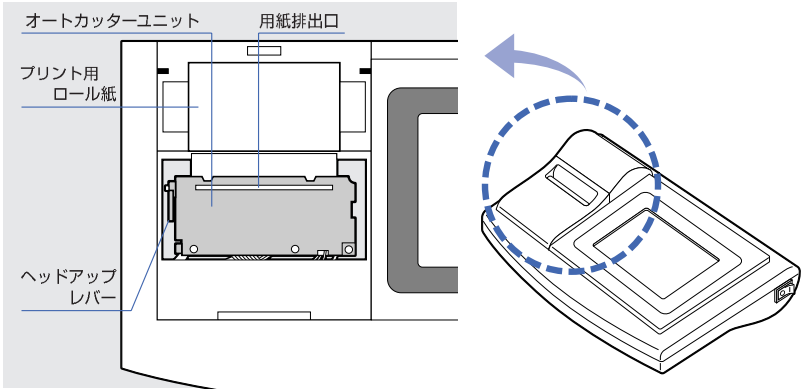
データ保存内容は、測定時の表示項目よりも少なくなっています。これは、必要最小限のデータをより多く保存するためのものです。

（保存、表示、印刷内容）

集団検診メモリ モード	会員測定 モード
（登録内容）	（登録内容）
①登録月日 ②年令 ③性別・体型 ④身長 ⑤体重 ⑥インピーダンス	①暗証番号 ②登録年月日 ③年令 ④性別・体型 ⑤身長 ⑥体重 ⑦インピーダンス
（表示内容）	（表示内容）
①登録番号 ②登録月日 ③年令 ④性別・体型 ⑤身長 ⑥体重 ⑦インピーダンス ⑧体脂肪率	①登録番号 ②登録年月日 ③暗証番号 ④年令 ⑤性別・体型 ⑥身長 ⑦体重 ⑧インピーダンス ⑨体脂肪率
（印字内容）	（印字内容）
①登録月日 ②登録番号 ③年令 ④性別・体型 ⑤身長 ⑥体重 ⑦インピーダンス ⑧体脂肪率	①登録年月日 ②登録番号 ③暗証番号 ④年令 ⑤性別・体型 ⑥身長 ⑦体重 ⑧インピーダンス ⑨体脂肪率

紙詰まりのときは

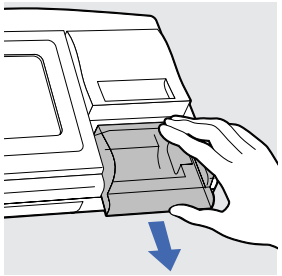
プリンターユニットの名称



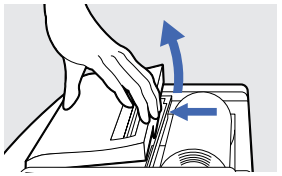
※上図は、コントローラー部のプリント用ロール紙カバー及びプリンターカバーを外した状態です。

紙詰まりの処理

⚠注意 用紙排出口から見える刃物部（用紙切断部）には、絶対に触れないでください。
プリンタ内部の金属部分には、絶対に触れないでください。
作業の際には必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

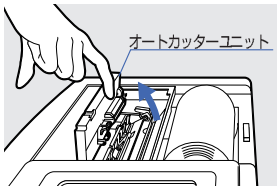
1 

プリント用ロール紙カバーを外します。
コントローラー背面に向かって、水平に引き抜くようにすると簡単に取り外せます。

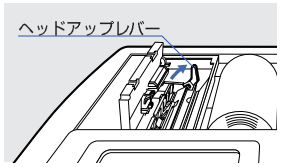
2 

プリンターカバーを外します。
コントローラー正面から切り欠き部に指をかけて、上に引き上げてください。

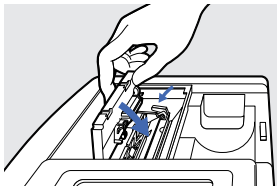
⚠ **プリンターカバーは、ツメでしっかりと固定されています。取り外す際には、コントローラーを落とさないように注意してください。**

3 

オートカッターユニットを引き上げます。
コントローラー正面から指をかけて、上に引き上げてください。

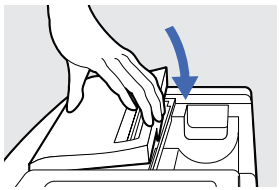
4 

ヘッドアップレバーを起こし、不要な紙を取り除きます。
プリント用ロール紙を取出し、不用な紙を取り除いてください。

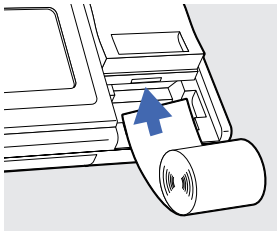
5 

ヘッドアップレバー、オートカッターユニット、プリンターカバーを元に戻します。

⚠ **ヘットアップレバーは必ず下げてください（プリント用ロール紙がオートカットされず、排出され続けます）。**

6 

プリンターカバーをとりつけます。
プリンターカバーのツメをコントローラー側のガイドに差し込み、カチッと音がするまでゆっくりと押し下げてください。

7 

プリント用ロール紙を再度セットします。
電源コードをコンセントに差し込み、電源をONした後、P.11『プリント用ロール紙のセット』の手順に従って、プリント用ロール紙を再度セットしてください。

8

プリント用ロール紙カバーを戻します。
コントローラー背面から、水平にすべらせるようにすると簡単に取り付けられます。

必要なとき

故障かな!?

■修理を依頼される前に確認してください。

症状		対策
はかりかた	インピーダンス測定エラー インピーダンス測定エラーです。再度、体脂肪を測定するか、身長・体重のみを測定してください。	●素足で測定する。 ●足の裏が乾燥しているときは、電極部に付属のスポイトで約0.5mlの水を垂らしてから測定する。
	ゼロ点異常 ゼロ点が異常です。はかり部に荷重が加わっていないことを確認し、再度電源を入れ直してください。	●電源を切り、測定台に載っているものをおろしてから、電源を入れ直して測定をやり直す。
表示部	電源を入れても何も表示しない	●電源が正しく接続されているか確認する。 (☞ 8ページ)
	タッチパネルの画面が暗くなる	●タッチパネルを10分間操作しない場合、画面が暗くなります。 ●画面にふれると、バックライトが再点灯します。
	[ーーーーーー]が表示される	●測定する重量が、測ることのできる範囲をこえています。
接続	測定・接続通信エラー 体重計の測定エラーです。ケーブルの接続及び設置状態を確認してください。	ケーブルの接続を確認してください。 ●振動がある場所に設置していませんか？ ●測定台がかたむいていませんか？ ⇨水平にしてください。(☞ 10ページ) ●ケーブルが断線していませんか？ ⇨お買い求め先にご連絡ください。

症状		対策
プリンター	プリンターに出力されない	設定を確認してください。 ●[3]プリンター・RS-232C・その他設定でプリンタ動作が[OFF]になっていませんか？ ⇨[ON]を押す。(☞ 15ページ) ●[5]印刷項目設定で、印刷したい項目が×になっていませんか？ ⇨× を押して ○ にする。(☞ 16ページ)
	プリント用ロール紙切れ プリンタの用紙が入っていません。用紙を補給するか、「戻る」を押してプリンタを無効にして使ってください。	●プリント用ロール紙を補給する。 (☞ 11ページ) ●印刷しないときは、[3]プリンター・RS232C・その他の設定でプリンタ動作の[OFF]を押す。 (☞ 15ページ) ●ヘッドアップレバーが起きていないか、確認してください。 (☞ 44ページ)
身長計	身長計カーソルが降りない	●各種設定画面の[6]身長計設定で[手動入力]に設定していないか確認してください。 (☞ 16ページ)
	身長計エラー 身長計にエラーが発生しました。機器を再度初期化します。	●ケーブルの接続部を確認してください。 ●ケーブルが切れていないか確認してください。
メモリ	モードでメモリは空いているのに、[自動追加]後に測定できない。	●No.200が登録され、ふさがっています。データを削除してください。(☞ 37ページ)
	内部エラー 内部エラー検出 メモリ書き込み防止のために停止しました。電源を入れ直してください。	●メモリに異常なデータが書き込まれるのを防ぐために、早めに電源を入れ直してください。

使用可能地域一覧

⚠ 重力差の関係で、使用区域により測定値に差が出ます。使用区域シールに記されている区域以外ではご使用にならないでください（計量法）。

使用地域番号	使用できる地域
1	釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、宗谷支庁管内、留萌支庁管内、網走支庁管内、根室支庁管内、釧路支庁管内
2	札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩支庁管内、後志支庁管内、上川支庁管内、空知支庁管内
3	函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、渡島支庁管内、檜山支庁管内、胆振支庁管内、日高支庁管内、十勝支庁管内
4	青森県
5	岩手県、秋田県
6	宮城県、山形県
7	福島県、茨城県、新潟県
8	栃木県、富山県、石川県
9	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈支庁管内、小笠原支庁管内を除く）、福井県、京都府、鳥取県、島根県
10	神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県
11	東京都（八丈支庁管内に限る）、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
12	熊本県、宮崎県
13	鹿児島県（名瀬市、大島郡を除く）
14	東京都（小笠原支庁管内に限る）
15	鹿児島県（名瀬市、大島郡に限る）
16	沖縄県

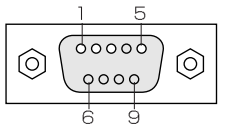
パソコンと接続するとき

■仕様

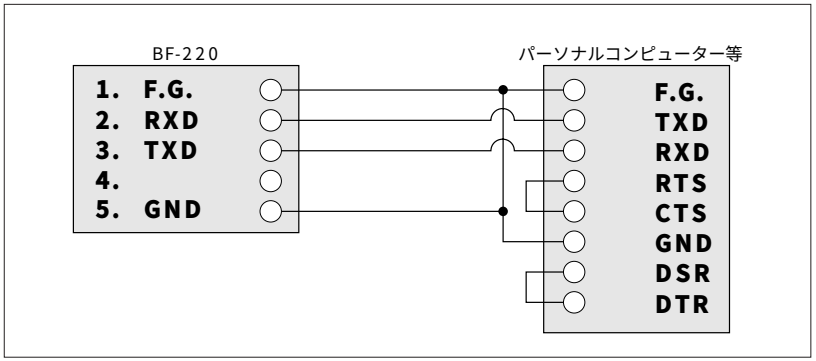
通信規格	EIA RS-232C準拠
通信方式	調歩同期式
信号速度	4800ボー
データビット長	8ビット
パリティ	なし（NONE）
ストップビット	1ビット
ターミネーター	CR+LF

■信号線の名称及び接続方法

端子番号	信号名
1	F.G.
2	RXD
3	TXD
5	GND

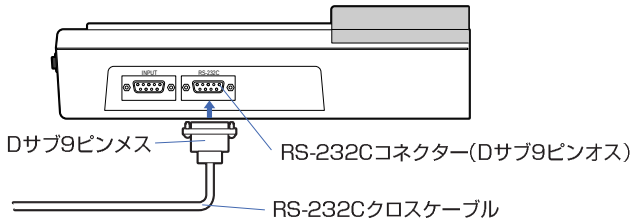


■接続例



お知らせ

●本体背面の下中央にRS-232Cコネクター（Dサブ9ピンオス）が付いています。
●パーソナルコンピューター等と接続する場合は、RS-232Cクロスケーブルを使用してください。



■送信データ

送信データは、受信側（パーソナルコンピューター等）の状態にかかわらず測定直後に出力されます。このため測定以前に受信側が、常に受信可能な状態になっている必要があります。

(1).出力データ項目（登録無し、通常測定）

	出力データ(ASCIIコード)		
日　付	”’yy／mm／dd”	11バイト固定長	（yy：年　mm：月　dd：日）
時　間	”hh：mm”	7バイト固定長	（hh：時　mm：分）
登録番号	”xxx”	5バイト固定長	（3桁までの数値、右詰）
SE番号	”xxxxxxxxxx”	12バイト固定長	（10桁までの数値、右詰）
体型モード	0または2	1バイト固定長	（0：スタンダード　2：アスリート）
性　別	1または2	1バイト固定長	（1：男性　2：女性）
年　令	xx	2バイト固定長	（単位 才、右詰）
身　長	xxxxxx	7バイト固定長	（単位 cm、右詰）
体　重	xxxxxx	7バイト固定長	（単位 kg、右詰）
インピーダンス	xxxx	4バイト固定長	（単位 Ω、右詰）
体脂肪率	xx.x	4バイト固定長	（単位 %、右詰）
脂肪量	xxxxxx	7バイト固定長	（単位 kg、右詰）
除脂肪量	xxxxxx	7バイト固定長	（単位 kg、右詰）
体水分量	xxxxxx	7バイト固定長	（単位 kg、右詰）
BMI	xx.x	4バイト固定長	
標準体重	xxxxxx	7バイト固定長	（単位 kg、右詰）
肥満度	xxx.x	5バイト固定長	（単位 %、右詰）
基礎代謝量	xxxx	4バイト固定長	（単位 kcal、右詰）

⚠注意

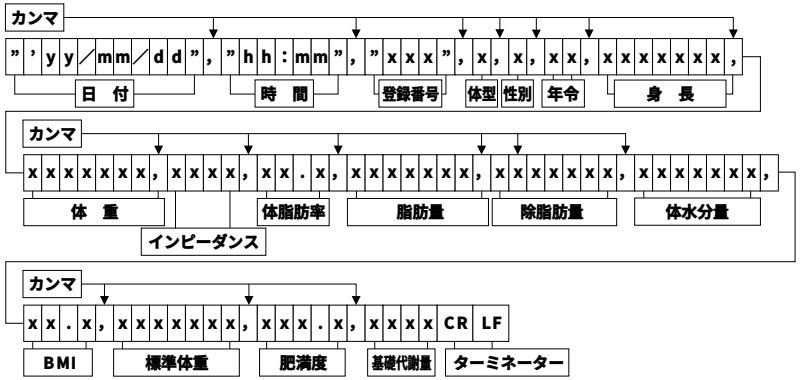
- **「BMI」、「標準体重」、「肥満度」のデータは、一般成人（「スタンダード」選択で18才以上の場合）を対象とした結果であります。出力データのフォーマットを統一するため18才未満の方や「アスリート」選択の場合でも出力されますが、このデータでの判定や判断はしないでください。**
- **17才以下の基礎代謝量のデータは、0000として出力されます。**

(2).出力データフォーマット

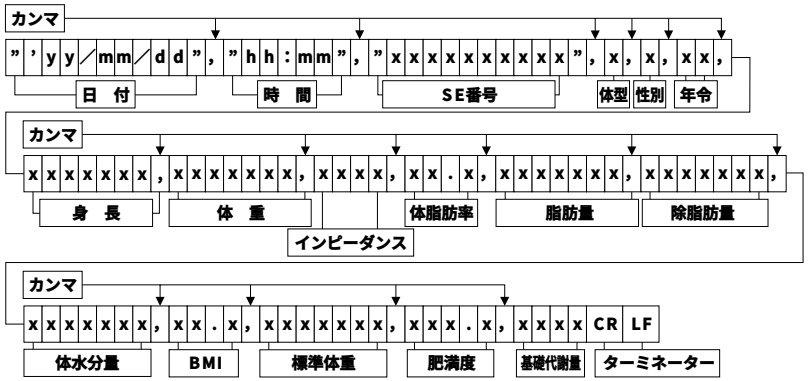
測定データは、下記のようなフォーマットで出力されます。

- 各データはカンマ（,）で区切られています。
- ターミネーター（データの最後）は、CR（ASCIIコード　0DH）、LF（ASCIIコード　0AH）です。
- 固定長データでデータの桁数が規定された長さに達しない場合には、データは右詰めで出力され、あまった桁には0（ASCIIコード 30H）が入ります。

＜測定モードで 通常測定 集団検診メモリ 会員測定 選択の場合＞



＜測定モードで 集団検診SE有 選択の場合＞



必要なとき

必要なとき

BF-220/02.10.3 02.10.3 11:05 AM ページ53

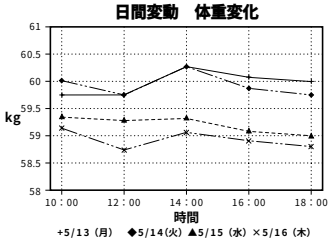
テクニカルノート

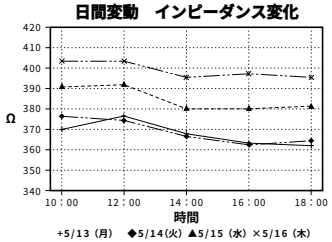
本器は、日本人を対象にし、水中体重法を基準として開発しました。測定に対しては、測定対象者の体型により、スタンダード、アスリートの選択が必要になります。年令を入力することにより、以下の子供、成人は自動的に選択されます。

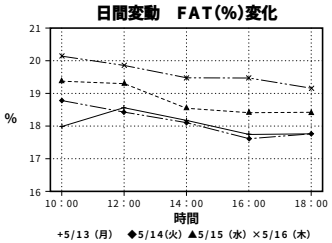
1) 7才以上～17才以下の子供（少年少女及び学童）
2) 18才以上～69才以下の成人（一般成人）
3) アスリート（18才以上で一般成人に比べて運動量の多いスポーツ選手など）

このように、測定対象者を分けることにより、からだが成長時期にある人、一般成人に比べてからだが筋肉体質になっている人などにも体内脂肪測定値の信頼性を高めることができます。

■生体インピーダンス測定の誤差要因







BIA（Bioelectrical Impedance Analysis）法は、身長、体重、生体インピーダンスの3つの変数を基に推定式を構成しています。
この中で、生体インピーダンスは、体重の約60%を占める体水分量の変化と分布状態の変化によって変動することが知られています。このため、研究を目的とする場合や、毎日繰り返し測定する場合は、測定条件を一定にすることが必要となります。
また生体インピーダンスの変動には、日間変動と日内変動（一日のサイクル変動）の2つを考慮する必要があります。

(1).日間変動

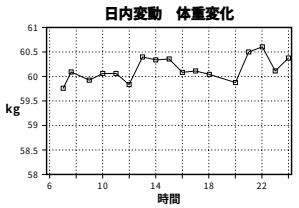
左図は、日間変動の実測例です。これは、脱水状態の際に生体インピーダンスがどの程度変化するかを調べたもので、2日間は通常の生活、後の2日間はサウナにより強制的に脱水状態にした結果です。
通常の生活の場合は体重の日間変動はほとんど認められず、生体インピーダンス、体脂肪率のいずれも日間変動は認められません。
脱水状態では、体重で約1kgの減少が認められ、生体インピーダンスは脱水1日目で約15Ω、脱水2日目で30～35Ωの増加が認められます。この結果、体脂肪率は脱水1日目で約1%、2日目で1.5～2%の増加となっています。
この被験者の場合、脂肪量が全く変化していなかったと仮定しますと、体重1kgの減少による体脂肪率の変化は、約0.3%の増加に相当しますので、実際の誤差は脱水1日目で約0.7%、2日目で1.2～1.7%の増加となります。
前述のように、体重減少（脱水）により生体インピーダンスは増加しますが、逆に過度の摂食摂水によって体重が増加した場合には、生体インピーダンスは減少します。従って、日間変動においては生体インピーダンスの変化は、体重の変化に反比例します。
こうした日間変動は、
1) 暴飲暴食による一時的な体重（体水分量）の増加
2) 過度な運動にともなう多量の発汗による脱水
3) アルコール摂取、利尿剤の使用による脱水
4) サウナなどでの多量の発汗による脱水

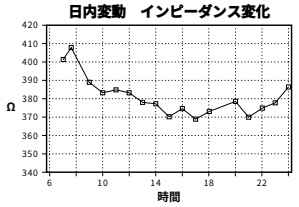
などが原因となって起こりますので、正確な測定が必要な場合はこれらの要因を排除するようにご指導の上、測定されるようお勧めします。

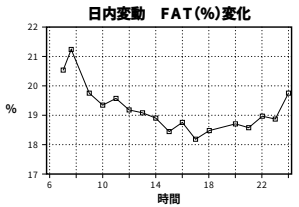
(2).日内変動（一日のサイクル変動）

通常、生体インピーダンスは就寝中に上昇し、活動中は低下するという性質があります。就寝中は血液に代表される細胞外液が体幹部に移動することにより、末梢部の細胞外液が減少して生体インピーダンスを上昇させ、活動中は、末梢部の細胞外液が復帰することにより生体インピーダンスを低下させるものと考えられています。
日内変動はこのサイクルに、摂食摂水による体水分量の変動、運動による体水分量の変動及び分布移動などが複合されて起こります。

下図は、日内変動の一例です。
体重の変化において、増加時は食事及び摂水により、22～23時における急激な減少は入浴によるものです。
朝食及び昼食後は、消化吸収が終わるまでの2～3時間は生体インピーダンスの低下傾向が認められます。夕食後は活動量が低下していますので、消化吸収による生体インピーダンスの低下傾向と同時に末梢部の細胞外液の減少による生体インピーダンスの上昇傾向が起こり、結果として顕著な傾向が認められません。







日内変動は、その人の生活リズム、職業、生活活動の違いなどによって、その人固有のサイクルを持っていると推測されます。
従って、安定した測定値を得るためには、次のような条件に基づいて測定されるようお勧めします。

1) 起床後3時間を経過し、この間通常の生活活動がされている事（起床後座ったままとか車による移動だけなどの場合は、生体インピーダンスは高いレベルのまま推移します）。
2) 食後3時間以上経過している事（食後2～3時間までは生体インピーダンスの暫減傾向が認められます）。
3) 激しい運動の後は、12時間以上経過してから測定する事（運動の種類、強度の違いにより生体インピーダンスの変化の傾向は一定していません）。
4) 測定前に排尿する事。
5) 繰り返し測定する場合は、できるだけ一定の時間帯に測定する事（体重の測定と同様に、測る時間を一定にすることでより安定した測定が可能になります）。

以上の条件に基づいて測定されますと、非常に安定した測定値を得ることが可能です。
なお、本器の開発に際し、回帰式を求めるために設定した条件は、以下の6項目です。

1) 測定前12時間以降のアルコール摂取の禁止
2) 測定前12時間以降の過激な運動の禁止
3) 測定前日の過度の摂食摂水の禁止
4) 測定前3時間以降の摂食摂水の禁止
5) 測定直前の排尿
6) 女性は月経時を避ける

■運動施設などで使用される場合のご注意

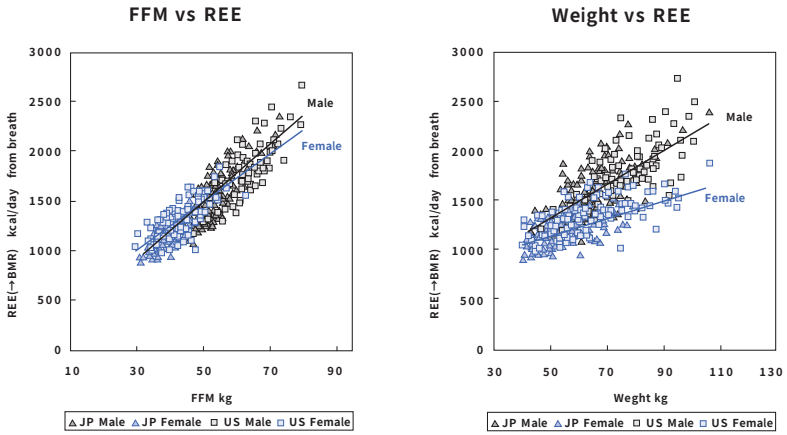
前にも述べましたように、運動前後では運動の種類、強度の違いなどにより生体インピーダンスの変化の傾向は一定しておりません。
また休日の場合などで起床後、通常の生活活動のレベルに達しないまま来館される方も想定されますので、ウォームアップ終了後に測定し、運動直後には測定しないようにご指導ください。

必要なとき

基礎代謝（BMR）の新しい回帰式について

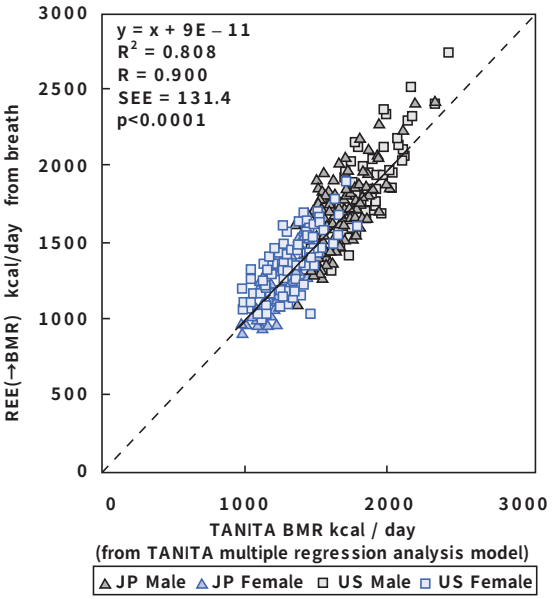
従来から医学・栄養学専門家の方々の間では、基礎代謝（BMR）は体重よりもFat Free Mass (FFM)によって決まるものであり（同じ体重であればFFMの多い人の方がBMRが高い）、本来は体組成を評価した上でFFMから推定すべきであると言われています。また、体組成を評価せずに身長・体重・年齢から計算できる簡易的な推定式の場合、体重の多い肥満者について過大評価してしまい、逆に体重自体はそれほど多くないが筋肉質であるアスリートのBMRを過少評価してしまうことが問題とされていました。今回、体脂肪計のメーカーであるタニタが研究を重ね、開発したBMRの推定回帰式は、このFFMを用いた重回帰分析によるものであり、個人の体組成の違いに即したより精度の高いものです。この推定回帰式は、BMRを求めるために、実際に呼気分析装置を用いて安静時の呼吸代謝（Resting Energy Expenditure：REE）を測定し、そのデータを元に作成いたしました。

＜図 1＞ 呼気分析によるResting Energy Expenditure（REE）と体重、FFMの関係
（2002 San Diego で開催されたNutrition Weekにて発表）
図1のように、REE（BMR）は体重との関係よりもFFMとの関係の方が強く、分布の傾きに男女の差も見られなくなります。体重との関係が中心となる従来の式よりも本来はFFMから算出すべきであることがわかります。



＜図 2＞ TANITA Multiple regression modelによるBMR値と呼気分析値の比較
（2002 San Diego で開催されたNutrition Weekにて発表）
今回採用したBMR回帰式は、BIAによる体組成測定結果からFFMの値を使った理にかなった式であり、実際の呼気分析REEを元にしたBMRの値ともR=0.9（p<0.0001）の良好な相関を示しています。この結果は2002年San Diegoで開催されたFirst Annual Nutrition Week (American College of Nutrition, American Society for Clinical Nutrition, American Society for Parenteral and Enteral Nutrition, North American Association for the Study of Obesity)でも発表されました。

取扱説明書記載
上記回帰式は、18才～84才の被験者を対象に測定し、作成されています。7才～17才以下と85才以上の方は、BMRの値は、参考値としてお使い下さい。



必要なとき

必要なとき